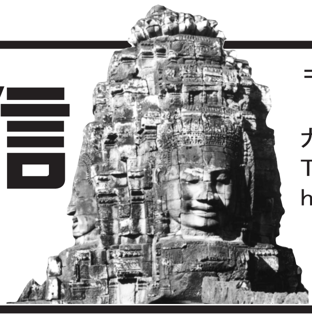
カンボジア通信

カンボジア教育支援基金（KEAF-Japan）会報

2009年 12月　53号



〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-2-24
JICA地球ひろば気付
カンボジア教育支援基金　事務局
TEL&FAX 048-431-5669(連絡先竹口)
http://www.keaf-japan.com
郵便振替口座
00150-1-558318 カンボジア教育支援基金

《総会報告》

地道な支援を重点に 活動の幅を広げます

金子敦郎（会長）

カンボジア教育支援基金（KEAF-Japan）は10月25日（日）午後、東京・新宿の早稲田奉仕園で第11回総会を開いて、今年度（2010年度）の活動方針とそれに伴う予算など決めました。この1年はカンボジア現地での奨学金、教科書や文具・スポーツ用具など、こどもたちの学校生活を支える地道な支援を重点にしながら、スタディーツアーやボランティア教師派遣などの取り組みを強化し、活動の幅を広げていきたいと考えています。

予算総額は前年度予算に比べて約140万円減の311万円です。2009年度に繰越金から65万円余りをプロモルプロム高校の遠距離通学生のための寄宿舎建設や先生の公務支援のためのパソコン支援などに当てたことと、会費や寄付収入が減少傾向にあるためです。活動を活発化させ、成果を高めることがおのずと会員や支援者を増やすことにつながると考えています。

総会は2009年度の活動報告や決算、および水澤壽郎理事の辞任なども承認し、後任理事の人選は理事会に任されました。水澤さんはほかにかかわっているボランティア活動にもっと時間を割く必要が生じたための辞任ですが、KEAFの活動の支援も続けると約束してくれました。

総会は会員88名のうち14名が出席、委任状出席が48名、計62人の出席で成立し、非会員出席者が2名ありました。

総会に先立って理事会を開催、総会に提出する活動方針や決算、予算などの各議案、総会運営方針などを決めました。

2010年度の活動方針、予算および2009年度決算を掲載します。2009年度活動報告は「カンボジア通信」52号（09年9月）を参照してください。

2010年度(2009年9月～2010年8月)活動方針

[奨学金]

支援活動の柱になっている高校生徒奨学金の給付枠は、今年度と同水準の60人です。2009年度に試験的に大学生１人に奨学金を出しました。これはあと3年継続になります。高校生への奨学金は１人年間40ドルですが、大学生には年間300ドルです。「１人でも多くの子供に教育の機会を与える」というKEAFの基本方針から、大学生奨学金は１人にとどめて、資金を奨学金やその他の支援プログラムに振り向けたいと考えています。奨学生の多くは将来、先生になりたいという希望を持っていますが、誰もが大学（小中学校教員養成コースは２年間）に進んで、その希望を実現できるわけでもありません。しかし大学に行かないでも(代用)教員になるための公立養成機関が各州におかれています。ここで１年間の訓練を終えてから小中学校の現場経験を積み、試験を受けて教員昇格を取る道が開かれています。この教員養成所へ進む生徒への奨学金支給の可能性を研究しています。

[教科書・教材支援]

教科書、辞書などの支援は先生と生徒に喜ばれていて、実績も積み重なってきました。学校側の要望を細かく聞き取りながら継続しています。さらに絵本､歴史､クメール文学などへ支援を広げ、「ミニ図書館」につなげていけないだろうかと考えています。ノート、ボールペン、スポーツ用具などの支援も継続しています。

[スタディーツアー]

2009年度の夏休み期間に企画した現地スタディーツアーは、参加希望者が催行人数に届かなかったので、2010年3月実施へ向けて募集をしているところです。

[ボランティア日本語教師]

プロモルプロム中高校に派遣してきた日本語ボランティア教師は、2010年度の候補者不在で、現地は残念がっています。長期滞在となるボランティア教師を毎年欠かさず派遣するのは大変難しいのが現実です。滞在期間を1年間にこだわらず、柔軟に扱うなどの工夫をしながら人材発掘、育成の努力を続けます。

[組織と財政の強化]

どんな支援活動をするにも必要なのは人とおカネです。いろんな知恵を出していきたいと思いますが､基礎になるのは日常の活動の積み重ねと､それを広く知ってもらうための努力だと思います。会員や支援者の皆さんの後押しをお願いします。

（以上）

2009年度 決算報告 期間(2008年9月1日～2009年8月31日)

収　入　（円）					支　出　（円）				
科　目	予算		実績		科　目	予算		実績	
1.会費及び寄付等	1,480,000		1,317,896		**1. 各学校教育支援**	1,155,000		1,026,325	
年会費		550,000		433,000	教材：教科書（6+2校）		320,000		259,824
寄付（カンパ）		750,000		734,726	運動用品（6校）		30,000		5,675
					ﾌﾟﾛﾓﾙﾌﾟﾛﾑ校修学旅行		80,000		57,894
助成金（大竹財団）		180,000		150,000	寄宿舎支援（新規）		400,000		445,782
					支援予備費（ﾊﾟｿｺﾝ支援）		200,000		207,052
預金利息				170	「ｽﾄﾘｰﾄﾁﾙﾄﾞﾚﾝｾﾝﾀｰ」 SCADP		55,000		48,095
					日本語ｸﾗｽ教材・資料費		30,000		2,003
					ｶﾝﾎﾞｼﾞｱ行事費		40,000		0
					2.ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ教師支援費	350,000	350,000	350,000	350,000
					3.渡航費・現地活動費	600,000		479,682	
					支援・調査現地活動費		300,000		349,272
					支援・調査活動渡航費補助		300,000		130,410
					4.事務局運営費・諸経費	865,000		766,930	
					事務所費4ヶ月（15000円）		60,000		45,700
					総会・理事会		50,000		29,729
					カンボジア通信		300,000		328,976
					講演会・学習会		30,000		0
					郵送費（領収葉書・印刷）		50,000		43,448
					HP（ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ）制作費		160,000		164,100
					ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ制作費		120,000		120,000
					交通費・旅費（国内）		30,000		17,900
					広報・活動費		25,000		0
					予備費・雑費		40,000		17,077
2.奨学金合計	550,000		402,000		**5.奨学金**	610,000		406,715	
奨学金寄付		400,000		222,000	奨学生面接費（渡航費活動費）		200,000		163,418
助成金（大竹財団）		150,000		180,000	奨学金（高校生51人）		250,000		202,421
					奨学金予備（大学1人）		100,000		31,500
					奨学金経費（資料作成）		60,000		9,376
収 入 計	2,030,000		1,719,896		**支　出　計**	3,580,000		3,029,652	
前年度繰越	2,442,406		2,442,406		**次年度繰越**	892,406		1,132,650	
一般繰越金		1,589,816		1,589,816	一般繰越金		99,816		284,775
奨学金繰越金		852,590		852,590	奨学金繰越		792,590		847,875
合　計	4,472,406		4,162,302		合　計	4,472,406		4,162,302	

2010年度 予算案 2009年9月1日～2010年8月31日

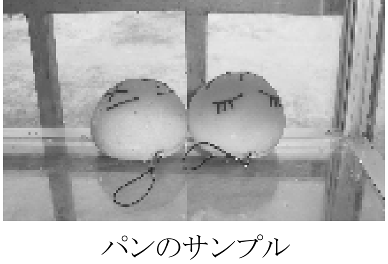
収　入　（円）					支　出　（円）				
科　目	予算		前年度予算		科　目	予算		前年度予算	
1.会費及び寄付等	1,380,000		1,480,000		**1.各学校教育支援**	410,000		1,155,000	
年会費		450,000		550,000	教材:教科書(6+2校)		240,000		320,000
寄付(カンパ)		750,000		750,000	運動用品(6校)		30,000		30,000
					※ﾌﾟﾛﾓﾙﾌﾟﾛﾑ校修学旅行		70,000		80,000
助成金(大竹財団)		180,000		180,000	寄宿舎支援(新規)		0		400,000
					支援予備費(ﾊﾟｿｺﾝ支援)		70,000		200,000
					「ｽﾄﾘｰﾄﾁﾙﾄﾞﾚﾝｾﾝﾀｰ」SCADP		0		55,000
					日本語ｸﾗｽ教材・資料費		0		30,000
					ｶﾝﾎﾞｼﾞｱ行事費		0		40,000
					2.ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ教師支援費	200000	200,000	350,000	350,000
					3.渡航費・現地活動費	500,000		600,000	
					支援・調査現地活動費		350,000		300,000
					支援・調査活動渡航費補助		150,000		300,000
					4.事務局運営費・諸経費	491,200		865,000	
					事務所費		1,200		60,000
					総会・理事会		40,000		50,000
					カンボジア通信		300,000		300,000
					講演会・学習会		30,000		30,000
					郵送費(領収葉書・印刷)		35,000		50,000
					HP(ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ)制作費(新規)		0		160,000
					ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ制作費		0		120,000
					交通費・旅費(国内)		30,000		30,000
					広報・活動費		25,000		25,000
					予備費・雑費		30,000		40,000
2.奨学金	400,000		550,000		**5.奨学金**	559,000		610,000	
奨学金寄付		250,000		400,000	奨学生面接(6月)費		200,000		200,000
助成金(大竹財団)		150,000		150,000	奨学金・高校生(61人)		294,000		250,000
					奨学金・大学生(1人)		35,000		100,000
					奨学金経費(資料作成)		30,000		60,000
収 入 計	1,780,000		2,030,000		支 出 計	2,160,200		3,580,000	
前年度繰越	1,132,650		2,442,406		次年度への繰越	752,450		892,406	
一般繰越金		284,775		1,589,816	一般繰越金		63,575		99,816
奨学金繰越金		847,875		852,590	奨学金繰越		688,875		792,590
合　計	2,912,650		4,472,406		合　計	2,912,650		4,472,406	

第25回 カンボジア・スタディツアー

かつて一大帝国を築き十世紀頃、世界の十都市の一つに数えられたアンコールワット。近年では内戦、大虐殺、地雷など負のイメージが付きまとうカンボジアですが、いざ現地へ行きますと街は活気に溢れ、村では皆の目が生き生きとしています。それは、数十年前の日本を見ているようだと言う人もいます。日本人が忘れてきた何かがカンボジアにはあります。それを五感で感じ取って頂ける、きっとそんな旅となります。

スタディツアーリーダー
事務局員　岡本 俊樹

【日程】2010 年 3 月 1 日（月）～7 日（日）
【訪問地】
プレイベン州の「プロモルプロム中高校」
プノンペン：NGO 活動地(ごみ山)、市内観光、
シェムリアップ：アンコールワット遺跡、地雷博物館等
【ツアー内容・目的】
カンボジア・プレイベン州(農村地域)のカンボジア教育支援基金が支援するプロモルプロム中高校で生徒、教師と交流します。
【募集人数】５名以上
【主催】毎日新聞旅行社
代理店ＭＳツーリスト
東京都品川区西五反田 2-28-2 第三岩田ビル
【参加費】128,000 円(学生)、148,000 円(一般)
日本からの往復航空運賃、成田国際空港施設使用料、現地移動費、食費、宿泊費などが含まれます。自由行動の時の食費、お土産代などは自己負担となります。
【参加申し込み】
事務局又は担当者にご連絡ください。
締め切り 2009 年 7 月 17 日（金）
【お問合せ】カンボジア教育支援基金
〒115‐0012 東京都渋谷区広尾４－２－24
JICA 地球ひろば
TEL　090－4280－1600（ツアー担当岡本）



パンのサンプル

ツアー日程概要 2010 年 3 月 1～7 日

２/６　（土）顔合わせ・事前研修
２/２０（土）最終打ち合わせ
３/１（月）成田(関西)空港出発
現地にてオリエンテーション
３/２（火）「プロモルプロム校」へ
先生・生徒との交流・特別授業体験
小学校、中学校で交流
３/３（水）交流・カレーパーティ
プノンペンへ移動
３/４（木）プノンペン市内観光
キリングフィールド・ツールスレーン
セントラルマーケットなど
３/５（金）シェムリアップ
アンコールワット遺跡観光など
３/６（土）シェムリアップ
３/７（日）早朝　成田(関西)空港帰着

３月下旬　評価会・報告会

プロモルプロム校授業の様子

プレイトープ小・中学校

ボランティア教師報告―３
2008 年 9 月～2009 年 5 月

事務局員　鳥飼南希

♪１　カンボジアの子どもたち

私が思うカンボジアの良いところは、なんと言っても子どもたちがかわいいことです。

日本の子どもは、「知らない人について行ってはいけません」と育てられます。ところがカンボジアの子どもたちは知らない人に興味津々でついて行きます。人懐こく寄って行って、口々に遊ぼう遊ぼうと手を引っ張って遊びに行きます。

カンボジアに行ったばかりで言葉がわからないとき、これにはとても助けられました。小さい子どもたちは素直で、体で思っていることを伝えてくれる上、言葉も単語で話すことが多いので話がわかりやすいのです。

近くの子どもたちと

♪２　カンボジアの鬼ごっこ

子どもたちに一番人気がある遊びは鬼ごっこです。鬼ごっこと言っても、ただの鬼ごっこではありません。２チームに別れ、鬼チームは１人ずつ出て、ケンケンで相手チームを捕まえます。鬼が両足ついてしまったら、鬼チームの次の子にバトンタッチします。鬼チームが先に１周してしまったら鬼チームの負け、鬼チームが一周する前に相手を全員捕まえられたら鬼チームの勝ちです。

この鬼ごっこ、日本の鬼ごっこより数倍疲れます。子どもたちはこの鬼ごっこを何時間もやっていられるのですからものすごい体力だと思います。私の住んでいた元郡長さんの家は大きかったので、家の庭では毎日鬼ごっこが繰り広げられていました。

♪３　絵本

カンボジアの村の家は大体が高床式です。子どもたちは私の部屋の下に来て床の隙間から様子を伺って、私が部屋にいると、きゃあきゃあ言いながら遊びに来ます。部屋で遊ぶときは、私が日本の友達から譲ってもらったたくさんの絵本を見ます。村には絵本がほとんどなく、みんな絵を見るだけですごく楽しそうに長時間眺めていました。こんなとき、私がクメール語を自由に話せたら、読んであげられるのになあ、と残念に思いました。

コンポントゥラバイ高校 先生&奨学生

♪４　にほんご

その他には私の部屋の前で日本語を勉強しました。勉強するといっても、まだクメール語もままならないような子もたくさんいたのですが、あいうえおを唱えるのがお気に入りで、みんなで大声で叫んでいました。途中でわからなくなる子がいるとわかる子が丁寧に教えてあげていて、見ているととても幸せな気持ちになります。

村の子どもたちは近所の子どもたちと本当の兄弟のように育っているのです。

機会があったら是非、癒されに子どもたちに会いに行ってみてください。

お坊さんと

英語のポーン先生

フレンドシップ
ベーカリーにて

2009年10月　カンボジア出張報告

報告者　事務局　竹口素弘

期間10月6日(火)～10月15日(水)
目的・・奨学生の年度始めの確認及び奨学金支給。
　　　教科書・副教材関係の支援。支援打合せ。教育調査。
出張者・・事務局　岡本俊樹、竹口素弘

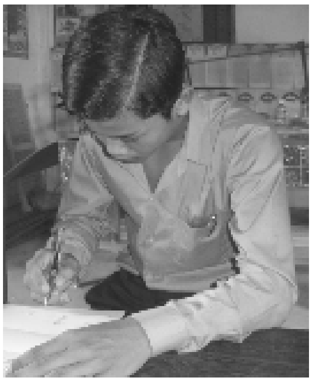
[1]　奨学金支援

1．プロモルプロム高校　10～12年生　計57名
- 奨学金の確認手渡し 55／57 人（2名は学校側の連絡もれで帰宅したため学校に預託）
- プレイトープ中学推薦生徒(11年生)とバンティチャクライ中学推薦生徒(11年生)が、各1名継続されていなかった。理由を確認の上、奨学金のシステムを校長先生に了解してもらい、支給しました。
- 10年生の時に選別した奨学生には、通常3年間継続支給します。勿論中途退学や特別な事情のある時はこの限りではありません。

2．コンポントゥラバイ高校　10-11年生　計10名
　プラティアート中学生の進学先高校で、2009年度3人(11年生)、2010年度7人(10年生)の計10人に奨学金支援をしています。校長先生に、11月～2月分を預託しました。

3．プレアンドゥン高校　11年生　1名
　プレイトープ中学の推薦生徒で、従兄のお坊さんを頼り、プレイヴェン市のお寺に寄宿し、高校に通っています。

11年生

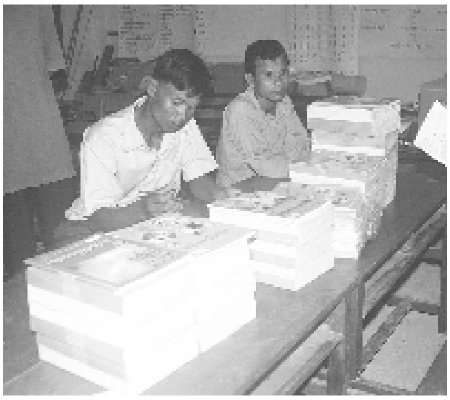

受領書サイン

[2]教科書支援

　今回は、プロモルプロム高校で奨学金の支給について細部の話し合い、コンポントゥラバイ高校・プレアンドゥン高校での継続奨学生の面接業務があったため、副教材、スポーツ用品の対応は次回としました。支援要望のある教科書を主要教科から順次購入し、支援しています。

アンサー小学校：クメール語･数学(4年)、社会(5-6年)　150冊
ソンポン小学校：クメール語･数学(2年)　120冊
プレイトープ小学校：クメール語･数学･社会(1年)　150冊
プレイトープ中学校：英語1(7年)　50冊
プラティアート中学校：数学(7年)　80冊
プレアンドゥン高校：クメール語･数学･物理･化学(10年)　100冊

　各学校の教師用教科書・生徒用教科書の支援実績は、必要人数分に対して、各々80％、70％ぐらいです。教科書等支援要望書を各学校から提出してもらい、事務局会議で検討し支援しています。


アンサー小学校・教科書支援

[3]教育調査

　今回の調査で新しく分かったことは、保育所・幼稚園がほとんどないので、**小学校1年生での留年**が多いということです。文字を1年生になって初めて勉強することが多い、牛など家畜の世話や下の子の面倒を見るなどで学校を頻繁に休む、などがその理由のようです。1年生での留年はありますが、他の学年での留年はほとんどありません。

　小学校・中学校で**女生徒の占める割合**は、30％から40％ぐらいが多く、こちらは調査済みデータを精査したいと思っています。

　小学校を卒業した時点で、縫製の仕事や土木建設の仕事に就く児童もいます。中学まで義務教育ですが、家庭の都合で小学校、中学校とも中退というケースが結構あります。

　政府が行っている中学生の奨学金は、小学校の校長、地元の人々が調査して、中学入学時に必要な生徒に支給されます。この規定ができた時以降に設立された中学には適用されず、1学年30名の奨学生のいる学校もあれば、1人もいないという学校もあります。

　プノンペン大学、プノンペン芸術大学も訪問し、学長、副学科長の方に会って話を伺いました。こちらの方はHPで報告掲載する予定です。

2009年10月～2010年7月 プロモルプロム高校 奨学生(12年生)　1/5

2009.10.9現在

No	写真	名前	性別	学年･組	成績	兄弟	番目	大学専攻希望	将来	家業	現住居	距離	好きな科目	塾での勉強科目	その他、高校でしたいこと
1		個人情報保護のため非表示	男	12	7→6	10人、中卒1人、小中退	8番目	多分行かせてもらえる。	物理の先生	農家　1.5ｈ		8km	数学	塾での勉強科目物理･化学	農作業手伝いをする
2		個人情報保護のため非表示	女	12	6→2	6人、高卒2人、11年1人	5番目	大学専攻希望	医者　人を助けたい	農家	通学1時間	5km	物理	数学、科学	
3		個人情報保護のため非表示	女	12	8→5	12人	末	大学進学希望	物理とクメール語の先生	農家、10番目の兄大学2年	家　自転車に同乗	1km	クメール語	塾で物理、クメール語	
4		個人情報保護のため非表示	女	12	5	9人、兄高卒	6番目		クメール語の教師	農家　45km　5時間	掘建て小屋、友達と		数学、クメール語	国の祭日の時家に帰る	父母8年前エイズで死亡
5		個人情報保護のため非表示	女	12	2→1	5人、1番目小2迄	3番目		英語の先生	農家、2番目中卒迄　7km	お婆さんの家	3km	英語、倫理、日本語	塾で英語	妹、弟に勉強を教えたい
6		個人情報保護のため非表示	女	12		4人	3番目		生物の先生	農家			生物		
7		個人情報保護のため非表示	女	12	1～2	5人	2番目		英語の通訳	農家	現住居	5km	英語	数学、化学	
8		個人情報保護のため非表示	女	12	3→2	7人	6番目	大学進学、家族の支援が困難	先生、クメール語･英語	農家	家　1時間	4-5km	化学、物理、数学		**論文コンテストで１位**
9		個人情報保護のため非表示	女	12	5→2	8人、4人高卒	8番目	大学専攻希望	クメール語・生物の先生	農家、2人合格も大学断念	家　1時間	3km	英語、化学、	塾は行っていない	1人お坊さん、1人縫製工場

10

個人情報保護のため非表示	女
12	5→7
3人 上2人は小卒迄	3番目
生物の教師	
農家　上の2人は家の手伝い	
家　1時間	2km
物理、生物	
英語に力を入れている	

11

個人情報保護のため非表示	男
12	32→7
7人、3番目大学1年法律	4番目
大学進学希望	
英語の先生	
農家、10年、小学生2人	
家、1.5時間自転車	7km
英語	
数学、英語	
サッカー	

12

個人情報保護のため非表示	女
12	11
8人、	8番目
クメール語の先生	
農家、姉縫製工場、1人高卒	
家　自転車　1時間	9km
クメール語	
塾へは行っていない	
子ども達に教えたい	

13

個人情報保護のため非表示	女
12	12→1
4人 上2人は9年迄	4番目
友人３人と一緒	
医者	
農家　34ｋｍ	
掘立て小屋、姉・友人と一緒	
数学、化学、物理	
数学、化学、英語	

14

個人情報保護のため非表示	女
12	13→3
5人 高校は初めて	4番目
化学の先生	
農家 20km 兄は家の手伝い	
叔父さんの家	1km
化学	
塾では化学、物理	

15

個人情報保護のため非表示	女
12	4
6人	6番目
数学の先生	
農家、兄はお寺の中学の先生	
	3Km
数学、物理	

16

個人情報保護のため非表示	男
12	4
4人　末は小学1年	長男
大学進学希望	
日本語通訳	
農家	
家　自転車	9km
日本語、数学	
塾では数学、日本語	
奨学金は塾と学用品	

17

個人情報保護のため非表示	女
12	5
会計士	
新学年から下宿の予定	12Km
生物	
物理、化学、生物	

18

個人情報保護のため非表示	女
12	8
3人	1番目
数学・化学・生物の先生(高校)	
農家 おば	
	6Km
英語、化学、	
塾ー奨学金をもらってから	

19

個人情報保護のため非表示	女
12	
4人	1番目
英語の先生	
生物	
新規	

ありがとうございました。（2009 年 9 月 11 日～2009 年 11 月 30 日）

年会費、寄付金、奨学金をお振込頂きました方々に心からお礼申し上げます。（敬称略）

個人情報保護のため非表示

==

[カンボジア学校訪問・参加者募集]

教科書等教育支援とその話し合い、奨学金の支給、奨学生の面接などのため、理事や事務局員が年数回現地の学校を訪問しています。会員や支援者の方で現地を見たいという関心をお持ちの方は、私たちに同行しませんか。ご希望の方はお問い合わせください。

6 月訪問では特に中学校、高校を重点的に訪問し、奨学金需給生および新規の奨学生候補者を面接します。いろいろな質問をすることにより、彼らの暮らし振りが理解でき、勉強に対する熱意も伝わってきます。学校の先生方や村の人との交流なども随時おこないます。

プノンペン市内・アンコールワット観光も併せてご希望の場合も相談に応じます。

木登りが好き！

[お願い]

各学校からコンピューターやデジカメの支援要望があります。買い替えなどで使用していないものが手元にありましたら、ご支援をお願いします。

学校では生徒の管理にパソコンが必須となっていますが、教育省は支給してくれません。先生たちは地域のパソコン塾や町のインターネットカフェに出かけて作成しています。時間と手間がかかります。ノートパソコンで OS は XP クラスを希望します。

デジカメは生徒の管理や登録の写真のために必要になります。学校にはないので何処からか借りて処理しているそうです。少々古いものでも結構です。

[ボランティアのお願い]

カンボジア教育支援基金の活動をお手伝いいただける方、ご連絡ください。

1．カンボジア通信の発行時に、編集作業、宛名シールの作成などをパソコンで行います。
2．イベント企画の好きな方。
3．ホームページの更新に関心のある方。
4．カンボジアの生徒の感想文など、翻訳の手伝いをしていただける方。(クメール語)

※ボランティア作業の後に懇談することが多く、楽しくおしゃべりしています。お気軽に参加ください。

電話・FAX　048－431－5669
keafjapan@yahoo.co.jp　事務局　竹口素弘